

作成日 平成 27 年 6 月 10 日

学校法人 滋慶学園 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 平成 26 年度学校関係者評価委員会開催報告書

議事録作成者・菊池紀子

1. 開催日時：平成 27 年 6 月 10 日 10：00～12：00
2. 開催場所：東京スポーツ・レクリエーション専門学校内 会議室
3. 参加者：学校関係者評価委員

(氏名)

兼重 武史	卒業生代表
加藤 守	保護者代表
小峯 力	業界関係者 (中央大学 教授)
前田 弘	業界関係者 (公益財団法人 日本サッカー協会)
渡部 広介	業界関係者 (フィットネスマーケティング 代表)
森 章	高校関係者 (拓殖大学紅陵高等学校 校長)
渡邊 法子	近隣関係者 (江戸川区立第七葛西小学校 副校長)

学校側参加者

浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園	理事長
古島 昭博	同	常務理事
関口 正雄	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	学校長
後関 慎司	同	副学校長
高平 敦	同	事務局次長
菅原 大輔	同	部長
菊池 紀子	同	FDC

4. 会議の概要

- (1) 全委員の自己紹介
- (2) 平成 26 年度の自己評価 (中項目) 内容
- (3) 平成 27 年度の重点目標説明
- (4) 質疑応答
- (5) 評価シートの記入方法説明・記入

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

意見 1 <教育理念・目的・育成人材像>

小峯：実践教育として CLUB-TSR カリキュラムの説明があったが、学んだことを即実践しているところが、非常に素晴らしく、とても良い取り組みだと思う。

森：学生は授業の一環として取り組んでいるのか？

高平：そうです。活動時間は学校の授業の中で運営しており、単位取得もしている。

意見 2 <教育環境>

小峯：防災訓練を年 4 回実施されているということですが、これはどのように実施しているのですか？

高平：訓練の時間帯を日中だけでなく、夜間に実施したりと、様々な場面を想定して実施している。

森：バリエーションを組んで、防災訓練を実施しているのは、素晴らしいこと。よく考えてみたら、いつ地震がくるか、わからないので、夜間など、人がいない時に地震が来たときのことを常に想定しておく必要がある。

5. 学校関係者評価結果、ならびに委員会での意見を踏まえた改善方策について

今回の学校関係者評価、ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

資格取得支援については、特定の学科、資格だけでなく、全学科、全ての資格においても、支援体制の整備、支援内容の充実化が図れるよう、努めるものとする。